

市議会だより おおだ

No. 69

2022(令和4)年10月20日発行

- 🐟 9月定例会・7月臨時会 2
- 🐟 一般質問に7人 8
- 🐟 常任委員会視察報告・特別委員会中間報告 12
- 🐟 インタビューコーナー～民生委員会編～ 15

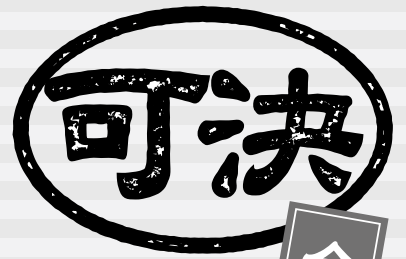
表紙の写真

三瓶町の風景(伊藤康浩議員撮影)

～朝日を受け、雲から顔を出す三瓶山。

いつまでもこの美しい風景が続いて欲しいと願います～

9月定例市議会は、令和4年9月2日(金)～28日(水)までの会期で開催され、上程された議案について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。



全会一致

(一般会計総額 242億9,784万円)



大屋町 木舟角折線の被害

現年土木災害復旧事業 1億2,180万円

令和2年度に発生した地すべり災害について、2か年にわたる測量設計が完了したため、被災した公共土木施設の復旧工事等を実施



健康で快適に学習できる環境整備

校舎等施設改修事業 1,898万円

電気設備の修繕及び、小中学校の特別教室(主に音楽室)へエアコンを設置

人事案件

【同意】

▼教育委員会委員の任命につき同意を求めらるる事
現委員である木村貴子氏の任期が本年11月28日満了のため、岩谷律子氏を新たに任命することに同意を求めたものです。任期は4年です。

【異議なく同意】

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める事
現委員である松浦英篤氏、龍文字氏、大谷久夫氏の任期が本年6月30日満了のため、高野明日菜氏(久手町)、月森美帆氏(静岡町)及び岩根礼子氏(仁摩町)を新たに任命することについて意見を求めたものです。任期は3年です。

議員提出議案

【修正可決】

▼地方における鉄道政策に関する意見書の提出
12057

【原案可決】

▼畜産飼料の高騰にかかる経営安定対策の強化に関する意見書の提出12057

協議の場の設置

●議会タブレット導入・運営協議会(6名)

◆設置の目的

議会へのタブレット導入に際し、取扱い基準案の検討・作成、導入後の運営、検証等。

◎石田 洋治
◎根宜 和之
◎柿田 賢次

◎小川 和也
◎亀谷 優子
◎伊藤 康浩
(◎)会長 (○)副会長

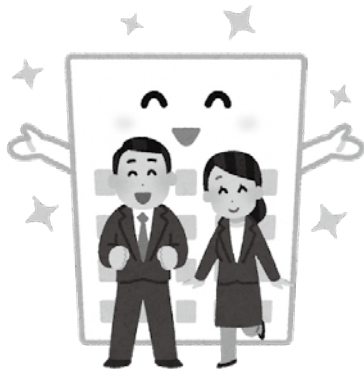
9月定例市議会



一般会計
補正予算
(第5号)

補正額 3億9,022万円

主な補正内容



大田市中小企業等経営持続支援金
給付事業 **8,860万円**

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰等の影響により厳しい経営環境に置かれている事業者の負担を軽減し、事業の継続と経営安定化を支援するため、支援金を給付



応急手当普及啓発等資器材(成人用人形)

新型コロナウイルス感染症
対策事業 **1,012万円**

救急活動及び応急手当普及啓発活動において、新型コロナウイルス感染防止対策を強化するために必要な資器材を整備

7月臨時市議会

7月27日
開催

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

9,156万円

可決

全会一致



畜産経営持続支援事業
9,156万円

新型コロナウイルス感染症の影響や昨今の国際情勢等により飼料価格が高騰する中、経営継続に取り組む畜産農家を緊急的に支援

令和3年度の決算（一般会計、特別会計、公営企業会計）については、決算審査特別委員会を設置し、審査を行い、全件認定しました。



一般会計及び特別会計歳入歳出決算

●一般・特別会計決算審査特別委員会

※◎委員長 ○副委員長

◎河村 賢治 ○清水 勝
 塩谷 裕志 根宜 和之
 亀谷 優子 和田章一郎
 清水 好 伊藤 康浩

	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	289億752万円	279億2,404万円
特別会計	117億8,632万円	115億9,410万円

歳入



問 実質収支8億2700万円余の赤字であり、交付金は増であった。コロナ禍で事業実施が難しくなったと思うが、より有効な施策を打ち出し、経済循環を行えたのではないかと。

答 コロナ対策事業はかなり行ったが、市外から人を招いたり各種団体と一緒に行う事業は、コロナ禍のため実施が困難だった。

問 基金残高が予定より増え、40億7000万円から52億7000万円に、財政調整基金は12億円から16億円に積み上がった。早めの方針見直しが必要ではないか。

答 国の税収が回復し、交付税の再算定など、想定以上に国からの配分があった。令和6年に枯渇する見込みであったので、令和7年以降の見通しなどを考えたとき、できるだけ基金残高を増やしたいと思っている。

歳出

問 不納欠損処分、支払い能力があったら、時効とせず留保できないか。

答 支払い能力がない方は時効を迎える。市税の収納について、債権管理条例を設置し、庁内連携を図っていく。

問 し尿処理の持ち込みが減っている。下水道との関係は。

答 15年目標の処理場の長寿命化工事を行っている。今後、し尿の持ち込みが減少することを踏まえ、15年後を見据えて下水道とのミックス処理のことも考えていく。

問 道路維持などの市民からの要望に対する対応の実態は。

答 市で行える工事はすぐ行っている。令和3年度の要望は543件あり、うち完了は530件であった。繰越の13件は危険が少なく、次年度に回した。

問 新工業団地、投資が成果につながらなかったが、今後の予定は。

答 県に申し込んだが不採択であった。大きな土地は無理でも、企業からの要望があるので、引き続き候補地を探す。

問 コロナ感染対策、救急対応において、病院との関わりは。

答 大田市立病院と連絡を密にして受け入れをしていただいた。また受け入れ処置後に市外の病院に送る措置をしている。

問 小中高魅力化推進事業、市内高校への進学率、その中の課題は。

答 市内高校、進学率は6割で推移している。魅力を発信し向上を目指す。

その他意見

・選挙における投票率の低下について、候補者も考える問題であるが、選挙管理委員会の席上などでしっかりと話し合いをしていただきたい。

・観光協会は令和3年度の総会の内容を聞くことができてきた。団体との連携も良くなってきた。頑張っていた。良かった。

【主な指摘事項】

- ①「主要施策の成果」について、決算額のほかに、どんな成果があったか内容や金額の掲載を。
- ②システム改修は、使いやすさと同時に合理化と人件費の削減につながるものへ。
- ③デジタル化の推進には、専門的な職員の登用を。
- ④「主要施策の成果」の作成は、数字合わせのための手間の削減を。
- ⑤市民に身近な費用の削減は、市民の不安、不満とならないように。
- ⑥地域内交通は、公共交通とのつながりも考え、成果の確認、報告を。
- ⑦観光関係のチラシ等、大田市のものわかるような工夫を。
- ⑧柳ヶ坪、沢田市宮住宅を集約し、空いた土地を若者定住の宅地に販売できないか。収入の面での検討を。

令和3年度決算審査全会計認定する

公営企業会計決算

●公営企業会計決算審査特別委員会

※○委員長 ○副委員長

○月森 和弘 ○森山 幸太
石橋 秀利 松村 信之
小川 和也 胡摩田弘孝
宮脇 康郎 柿田 賢次

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業会計	11億8,978万円	11億1,907万円	5億1,820万円	8億9,709万円
下水道事業会計	6億2,159万円	5億9,982万円	10億1,138万円	10億1,489万円
病院事業会計	57億4,677万円	55億6,573万円	9億4,726万円	11億9,466万円

◎水道事業会計



問 県内で一番高い水道料金をどのようにつけていくのか。

答 下げるのは難しい。他市も上がる傾向にある。経費削減等努力していく。

問 未収金対応は。

答 毎月給水停止を100件行っている。納付に向けて相談を進めている。

問 簡易水道統合の対応は。

答 統合については大田市では概ね完了している。水道事業としての拡大は考えていない。

【主な指摘事項】

・未収債権の新規発生の未然防止に努め、債権管理マニュアル等に基づく効果的な債権回収に取り組むこと。
・下水道事業、病院事業ともに共通（下水道事業、病院事業）の推進。
・さらなる水道ビジョンの推進。
・水道水は豊富に安価で供給することが求められる。地域の事情を市民に説明する必要性がある。
・石綿管更新について、災害発生時、

水道水の安定供給に支障が生じることから早期の更新を望む。

◎下水道事業会計

問 下水道の接続率向上について。

答 接続率向上のため、測量設計の段階で併せて地域の皆様方に相談依頼をお願いする対策を強化したい。

問 公共汚水ますについて、当初の見込みとの差は。

答 差が出ている。設置の同意をよ多く求めている。

【主な指摘事項】

・公共汚水ますの設置費用について負担金が高いとの声がある。見直しの検討を。
・下水道への接続率の向上に向け、様々な施策を検討すること。また、地域へ出かけ接続率を高める方策を地域の方と共に検討したい。

◎病院事業会計

問 コロナ対応確保病床は。

答 年間延べ11575床、一日当たり1割に戻すと31・7床である。

問 コロナ禍の経営改善についてどう考えているのか。

答 感染症指定機関の役割を担いながら病床確保に取り組んでいく。今は様々な角度から対応して経営改

善に取り組む。

問 高額な医療機器の購入ではなくリースにする考えはないか。

答 医療機器は企業債や過疎債、返済は有利な地方交付税を活用し購入している。

【主な指摘事項】

・コロナ対策で補助金を得たことで収益は急改善したが、依然として赤字の状況と思われる。改革プランを策定し経営安定化に向け、特に民間の発想を取り入れていただきたい。

・コロナ感染症の収束の後、診療圏域の人口減少が想定外に進む可能性が高い。経営面の目標達成に向けてオール病院での取り組みを。

・コロナ禍での出産・子育ては制限が多いが、里帰り分娩や家族の分娩立ち合いが出来る病院であっていただきたい。

・財産について、今後の利用が見込まれない未利用財産について積極的な売却に努めること。



令和3年度一般会計及び特別会計決算認定討論～要旨

市民への還元と大田市の 活性化など、 バランスの取れた決算状況

アフターコロナを見据え「第二次大田市総合計画」に目配りをしながら行財政改革、定住施策や産業振興策、教育行政、市民の安心・安全を確保する市民サービスなど、各分野にわたり施策が実行された。

第2期ケーブルテレビエリア 光化促進事業

全市に光ケーブルの敷設が完了し高速通信環境が整ったことで災害対応や視聴環境が向上した。

ワクチン接種事業

1回目から3回目までの接種が行われ感染率の減少につながった。

新可燃ごみ処理施設の負担金

大型塵芥車購入事業、し尿処理施設改修事業など、市民生活の要といえる整備を進めることができた。

大型ハード事業

大田市駅前周辺東側土地区画整理事業や仁摩地区道の駅整備事業へ取り組んだ。

下水道事業、浄化槽設置事業

基本的なインフラ整備の推進。

消防団車両等更新整備事業、消防団 員公務災害防止活動援助事業

装備の充実や安全確保が図られた。

学校教育関連事業

生徒の学力向上への支援が行われた。



市民の暮らしと 福祉を守る対応を

行き過ぎた行財政改革は根本的に見直し、公共サービスや医療、福祉、産業政策を住民の暮らしを支えるという視点に転換するべきである。

① 社会保障

高すぎる国保料は家計を圧迫している。人間としての尊厳を守る社会保障を抜本的に強化することを求める。

② 新型コロナウイルス感染拡大防止

医療機関や福祉施設に対し、公費でPCR検査などの施策をはかるべきである。

③ 産業振興

誘致企業頼みの産業振興ではなく、地域に根を張って頑張る企業や地場産業の育成に重点を置き、内発型、循環型の地域経済を目指した地域振興策を推進するべきである。

④ 農業

価格保障と所得補償を行い、持続可能な農業経営の実現を。

⑤ 保育

行政が責任をもって公立の保育園を運営することが、地域を守ることにつながる。

⑥ マイナンバー制度

マイナンバーの利便性が強調されるが、個人情報を漏えいさせない完璧なシステムはない。

⑦ 学校図書館司書

学校図書館司書の専任配置を求める。



◇7月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太	
																							対等
■市長提出議案																							
議案第24号 令和4年度大田市一般会計補正予算(第4号)		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数18名、うち議長(小林 太)は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

◇9月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太	
																							対等
■市長提出議案																							
議案第25号 令和3年度大田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について		認定	15	2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号 令和3年度大田市水道事業会計利益の処分及び決算認定について		可決認定	15	2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第27号 令和3年度大田市下水道事業会計決算認定について		認定	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号 令和3年度大田市病院事業会計決算認定について		認定	15	2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第29号 令和4年度大田市一般会計補正予算(第5号)		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第30号 令和4年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号 令和4年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号 令和4年度大田市病院事業会計補正予算(第2号)		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第33号 大田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号 大田市税条例等の一部を改正する条例制定について		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号 大田市森林総合利用施設三瓶こもれびの広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号 大田市石見銀山龍源寺間歩の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15	2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号 大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号 大田市一般市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第39号 大田市消防団員の定員、任免、給与及び服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第40号 大田市立学校設置に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15	2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第45号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて		異議なし	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第46号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて		異議なし	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第47号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて		異議なし	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■議員提出議案																							
意第2号 地方における鉄道政策に関する意見書の提出について		修正可決	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
意第3号 畜産飼料の高騰にかかる経営安定対策の強化に関する意見書の提出について		可決	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第41号 特別委員会の設置について		可決	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号 特別委員会の設置について		可決	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第43号 協議の場の設置について		可決	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数18名、うち議長(小林 太)は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々) ※「欠」は欠席

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、9月7日、8日に行われ、7人の議員が執行部の考えをたずねました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.oda.lg.jp/>)で閲覧できます。)



▲“海の森”守ろうプロジェクト(8月23日 あけぼのこども園年長児が「板わかめ」オリジナルパッケージ用イラストを描きました。)

大田市の農業の現状と課題

集落営農組織の組織化は進むが、課題は後継者の確保

こま だ ひろたか
胡摩田弘孝 議員



②この交付金制度は、水田での大豆や飼料用米等の生産に支援を行うものであるが、現在政府は見直しの方針を示している。交付金制度の見直しは、大きな影響が予想され、状況を注視し、情報把握に努める。

③化学肥料等の生産資材を輸入に頼る中、国際情勢による価格の高騰は、生産者にとって大きな負担である。国・島根県と連携し、生産コスト削減に向けた機械の導入等、安定的な農業経営へ取り組む。

④鳥獣被害対策は、被害の発生を未然に防ぐ考え方が重要である。これまで野生動物への餌やり行為、田畑における防護対策、餌資源となる生ごみ等の被害を未然に防ぐ情報発信や防除技術の普及・啓発を行っているが、今後も地域の対応力の強化を図る。

事者の育成が必要である。

質問

市内の農業生産は、過疎・高齢化の急速な進展による担い手不足や有害鳥獣被害が、耕作意欲の減退や放棄地の増加に拍車をかけている。さらに、米価の低迷、原油や資材高騰は農家経営を圧迫し、農業生産に支障をきたしている。そこで、

- ①集落営農組織の現状や課題
- ②水田活用交付金の問題
- ③生産資材の高騰、米価の低迷
- ④鳥獣被害対策

答弁

①集落営農組織の現状は、本年度2組織が設立され42組織となり、組織化が進んだ。後継者確保が課題で、将来に向け地域内農業従事者の育成が必要である。



▲畑作用排水アタッチメント

文教施策の充実強化を

教育の質を維持していくため、
教職員の適正配置を要望していく

しみず まさる
清水 勝 議員



質問 少子高齢化・人口減が加速し、7波に及ぶコロナ禍で教育環境にも深刻な影響が生じている。

- ①教職員の欠員補充と定数の確保や支援員の配置について伺う。
- ②学校給食は子どもたちの心身の健全な発達に資する。学校での食育の推進や、就学援助による給食支援が3割に及んでいることから、給食費の無償化に取り組むべきである。
- ③安倍元首相の「国葬」については在任期間の公文書の改ざん・隠ぺい疑念が払拭されていない。教育の中立性からも学校で弔意表明をしないようにしてほしい。

答弁 ①大田市では、今年度当初の教職員の配置は全ての学校に

おいて定数配置はあったものの、学校の実情に応じて配置されるべき加配教職員等については、一部未配置の状況にある。また、非常勤講師により対応している学校が現在6校ある。緊急校務支援員については補助事業を活用し、教職員の負担軽減を図る職員配置にも努めてまいりたい。今後も教職員確保策の具体化と学校の実情に応じた教職員の適正配置を県教育委員会に対して、強く要望していく。

②学校給食法では、人件費と施設修繕費等は、設置者である自治体の負担と規定する一方で、食材に係る費用は保護者の負担とすることが規定されている。約1億4,900万円が食材費であるが、これを公費負担することは、当市の厳しい財政状況の中では困難と考えられている。

③文科省や県教育委員会から弔意表明といった協力要請はないので、市教育委員会としては、独自に学校での半旗の掲揚や教職員などへの黙祷の呼びかけを行う考えはない。

子どもの通学路 安全対策の取り組みは

新たな予算の確保で
整備を推進していく

かきだ けんじ
柿田 賢次 議員



質問 通学路の安全確保について、平成26年(29年改訂)に「大田市通学路交通安全プログラム」を作成し取り組んでいる。毎年小中学校より危険箇所の把握を行っているが、その取り組み状況について伺う。

また、歩道整備が困難な道路の車道と歩道スペースを明確に区別する「グリーンベルト」の設置について、及び通学路の安全対策のための予算確保について伺う。

答弁 当プログラムに基づき、警察、県市の道路管理者、学校・教育委員会関係者で毎年合同点検を行っている。令和2・3年度の改善要望は33か所あり、内、改善完了11か所、完了予定14か所、未定8か所である。

本年度も8月に点検を実施し、未着手分併せて29か所の要望があり、随時改善に向け対応していく。

「グリーンベルト」の整備は、令和3年度までに5路線が完了し、要望箇所は残り6か所である。

予算について、これまでの交通安全対策交付金事業(例年約250万円)及び、今年度より新たに国の「防災安全交付金事業」を活用して、本年度は1千万円を予算化している。

内訳は、グリーンベルト6路線2,600m、転落防止柵2路線1,200m、区画線引き直し7路線3,600m等を予定しており、今後とも予算確保に努め、整備を推進していく。



▲歩行者の安全のためのグリーンベルト

男性トイレへの サニタリーボックス設置を

公共施設を中心に設置を
推進する

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



時の避難所運営やトランスジェンダーの方々への配慮の観点からも必要であると考えており、今後、市役所本庁、支所などの公共施設をモデルにサニタリーボックスの設置を行い、利用状況を見ながら、公共施設の中でも多くの皆さんが利用される集客施設を含め、設置箇所の拡大を進めて行く。

質問 前立腺がんや膀胱がんを患った男性が使用済みの尿漏れパッドなどを捨てる場所に困るケースが生じており、男性トイレにもサニタリーボックスを置く動きが自治体や商業施設で広がっている。大田市においても、公共施設、商業施設の状態を把握し、設置に向けて検討すべきと考えるが所見を伺う。

答弁 近年、男性の前立腺がんや膀胱がんの患者について尿漏れパッドや紙おむつの使用が増えつつあり、トイレ利用の際、使用済み尿漏れパッド等を廃棄するサニタリーボックスの設置を求める声が今後高まることが想定される。

サニタリーボックスの設置は、災害



▲安心してトイレの利用ができます
(市役所本庁舎1階多目的トイレ)

石田議員その他の質問項目

- ・情報のバリアフリー化
- ・マイナンバーカードの発行状況とマイナポイントを活用した物価高対策

大田市ふるさと納税の 現状、課題、今後

返礼品、サイトの充実を検討し、
寄附の増額を目指す。

いとう やすひろ
伊藤 康浩 議員



がっている。しかし、寄附額が前年度を下回っている状況について、委託業者とその要因の検証や対策など、定期的に協議を行いながら業務改善にあたりたい。

質問 平成20年の開始以来、新色豊かな返礼品の開発等、納税額向上を目指し、全国で積極的に取り組まれている。コロナによる「巣ごもり需要」の追い風の中、大田市は対前年比マイナス13%と減少。これまでの取り組みの問題点や今後のあり方、戦略について伺う。

答弁 近年のふるさと納税は、インターネットショッピング化が顕著であり、自治体直営よりも民間のノウハウを活用した方が寄附額の増額が見込めると考え、一部業務を民間事業者へ委託した。その後、ポータルサイトを分析し、写真やキャッチコピー等で商品の差別化や分かりやすい表示の工夫を図り、リピート率が8.5%上

ふるさと納税は、本来の趣旨である自治体や生産者を応援したい方と、お得感を求める方とで二極化しており、ポータルサイトの属性に応じた返礼品の見せ方が必要だと考えている。引き続き、それぞれの属性に応じた魅力ある返礼品の掘り起こしや開発を行うとともに、平均8品を比較検討していると言われている寄附者に端的に分かりやすい表示や、共感が得られるようなポータルサイトの改善を図るなど、大田市の返礼品を認知してもらう機会を増やし、寄附の増額を目指していく。



「ごいせ仁摩」は、設置目的等の契約が守られていないのでは

産業振興等の設置目的に
かなうよう努力する

和田章一郎 議員



質問 15億円の当初建設費と年間1800万円の管理費（指定管理料820万円及び光熱水費等）のかかる道の駅「ごいせ仁摩」は内外の評判がすぐる悪い。

市と指定管理者との覚書の中の業務仕様書と、運営の実態はあまりにも乖離が大きく看過できない。象徴的なのが4年前に大田市が公募で採用し、地元との事前調整などの準備を進めてきた駅長のわずか2か月での辞職である。

設置目的がかなうよう、トップ会談も含め、厳しく指導等対応すべきでは。

答弁

初期投資は総額約15億円の事業であり、道路休憩施設部の管理経費や設備保守点検に関する

る経費として、指定管理料年間約820万円を支払うこととしている。多額の投資に見合った効果については、短期的な売り上げだけでなく、観光客の増加、市内産品や事業者の認知度向上など、「ごいせ仁摩」の波及効果も含め、長期間にわたって幅広く得られるものと考えている。

また、前駅長の功績は大きく辞職は残念であるが、新駅長も共に携わってきた経緯もあり、今後の活躍を期待している。

指定管理者に対しての厳しい指摘に関してはすでに伝えてあり、結果が出なければ再契約は無意味という話になると思っているが、その前にトップ会談の方法もやってみなければならぬと思う。



▲道の駅「ごいせ仁摩」

働く女性の家の 利用継続を

働く女性の家
令和6年3月末で廃止の方針

宮脇 康郎 議員



質問

平成4年に働く婦人の家からスタートした大田市働く女性の家は、現在生涯学習の場としても多くの市民に利用され、親しまれている。昨年春、突如機能廃止が提案され、利用者は、今後の利用の不安から「利用の継続を求める」署名を人口の18%にあたる6637筆提出した。これまで果たしてきた役割、機能廃止の理由、署名提出等についての認識、根拠を伺う。

答弁

働く女性の家は、これまで約30年にわたり各種講座やイベントの開催により、女性の社会参加意識の醸成、社会的地位の向上と福祉の増進を図るための中心施設として一定の役割を果たしてきたものと認

識している。社会情勢の変化に伴い、働く女性に限定する意義が薄れていること、近隣に他の類似施設もあること、本来の設置目的以外での利用が増え、それらの活動は他の公共施設において実施可能であることから、働く女性の家としての一定の役割は終えたと判断し、令和6年3月末をもって廃止する方針とした。

7月29日、利用者団体から署名の提出をいただき、非常に多くの市民の皆様が継続を希望されていることを市としても重く受け止めた。一方で、厳しい財政状況の中、公共施設適正化の取り組みも喫緊の課題となっている。利用者の皆様には多少ご不便をおかけするかもしれないが、現在の活動が継続できるよう引き続き検討したい。



▲サンレディー大田

宮脇議員その他の質問項目
・家庭不燃粗大ごみ処理手数料の納入場所

常任委員会視察報告

民生委員会

日時：令和4年7月28日(木)

視察場所

・邑智クリーンセンター(川本町)

民生委員長

森山 幸太

民生委員会では、邑智クリーンセンター可燃ごみ共同処理施設の視察を行いました。施設の2階会議室にて、施設のDVDを拝見して、敷地面積・処理能力40t/日(20t/16h×2炉)・処理方式(準連続燃焼式ストー力炉)の概要の説明を受けた後に、施設内を視察しました。

安心・安全・安定した処理が行える施設でした。また、施設立地周辺地域の環境保全、震災などの災害時に発生する災害廃棄物も処理でき、地域の避難場所として



▲クリーンセンター内部を視察

も活用できます。今後とも、大田市と組合の共同処理による処理の効率化を図りながら、運行をしていただきたいと思います。

産業建設委員会

日時：令和4年8月16日(火)

視察場所

- ・三瓶浄水場
- ・志学水源池
- ・志学下の町水源
- ・下の町配水池
- ・三瓶ダム

産業建設委員長

根宜 和之

現在、大田市議会の産業建設委員会では「将来を見据えた水道事業のあり方」について事務調査を行っています。

6月に事務調査を開始し、大田市水道ビジョンをもとに勉強を重ね、8月16日には市役所担当職員と一緒に三瓶浄水場や、志学の水源地及び配水池、三瓶ダムなど質



▲三瓶浄水場

疑応答を交えながら視察も行いました。

委員からは「各施設の維持管理、基幹管路の更新状況と共に課題も分かった。」「豊かな水源が無く、工業用水を提供出来ない課題がある。」「浄水場の指定管理者制度について良く理解出来た。」などの意見が聞かれました。

今夏の三瓶ダムは記録的な渇水状況にあり、文字通り「命の水」を安定的に提供する水道事業の使命の重さを実感した視察でもありました。



▲三瓶ダム

今後、水道料金のコスト分析や他自治体との比較、施設の耐震化や老朽化による影響、人材育成や事務の広域化と連携など継続的に調査を行う予定としております。

事務調査とは、その委員会が所管する事務を自主的に調査し、各分野の課題解決に向けた研究を行うものです。

行革・公共施設調査検討 特別委員会中間報告



まつむら のぶゆき 松村 信之 委員長

7月11日、8月8日に開催。

行財政改革実施計画の令和3年度における取組状況

問 ペーパーレス化の推進について、研修をするなどわかりやすく丁寧に進めてほしい。

答 これからの業務は電子化を無視するわけにはいかず、知識を高めあつて進まなくてはならないと思っております。

問 公共施設適正化計画の推進では、市の所有施設が407施設あり、今後どのように使用していくのか決定していない施設が367施設ある。この状況で2045年度までに総延べ床面積を30%削減する目標が達成できるのか。

答 今後とも計画達成のため推進に努める。

意見

施設使用方針が決定している40施設については公表し、その目的を示してほしい。空き校舎利用については、民間へ譲渡する場合の基準を明確にしてほしい。

問 組織定員の適正化、総人件費の抑制では、正規職員数は減少しているが、再任用及び会計年度任用職員及び嘱託職員数は微増である。人口の減少を考慮するならば、今後の適正な職員数をどのように考えているのか。

答 適正な人事配置については各部署との人事ヒアリングを昨年6月、10月に実施し課題の整理をした。中途退職者の増や再任用制度に合わせた働き方改革であるが、その都度調査をし、65歳まで働ける環境づくりに努めたい。

問 公用車総保有台数について、今後も削減に努めてほしい。

答 削減の方向で検討する。

市長と語る「大田市役所本庁舎の整備」について

市民の参加人数は延べ401人であり、当日のアンケート調査では、約8割の参加者が参加前に比べ興味関心を持たれたようである。しかし参加者が少ないという現実もあり、本庁舎の整備については、これから様々な情報を流すと共に、市民の皆様に

は理解を深めていただきたい。

意見

市が財政負担しなくても、民間の活カのもと建設してはどうか。
若い人の参加が少ない。

今後の見通しスケジュールをもっと示すべきである。
決して住民サービスの低下を招くことのないように、急がずにじっくり進めてほしい。

サンレディー大田の今後のあり方

説明

既に建物調査が終了し、外壁及び一部内装の下塗装にアスベストが使用されていたものの、飛散するものではない。調査結果を整理し秋頃を目途に市としての方針を出す。

意見

公共施設適正化の中で議論しているので、ふれあい会館とセットで考えて方針を出すべきである。
機能廃止後の後利用も含め早急に市としての方針を出すべきである。



▲8月8日特別委員会

研修会に参加しました

8/25 島根県市町村議会 広報研修会(松江市)



島根県町村議会議長会が主催の広報研修会に広報広聴委員が参加しました。

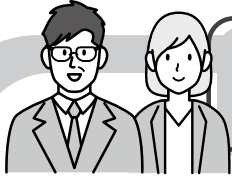
当日は、PRDESIGN JAPAN株式会社代表取締役 佐久間智之氏の講演の後、参加自治体の議会だよりのクリニックがあり、本市の市議会だよりについてはアドバイスをいただきました。

今回研修で学んだ内容を参考に、市民の皆さんが読みやすく、手に取ってもらえる市議会だよりを目指し、フォントや写真、内容など、広報広聴委員会でも検討を重ねていきたいと思えます。

8/2 島根県市議会議長会 議員研修会(出雲市)



島根県市議会議長会議員研修会は、県内の市議会議員が一堂に会し、共通の課題に対して認識を深めるために開催されています。今回の研修会では、総務省統計局 統計利用推進研究官 長藤洋明氏及び、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部准教授 篠原 靖氏による講演がありました。証拠に基づく政策立案の意義、最近の動向や取組、データを活用した政策立案等の事例等について、また、アフターコロナを見据えた観光による関係人口の創出と地域ブランドの確立に向けた取り組みについて学ぶことができた研修でした。



写真で見る議会日誌



7/26

国道375号(大田・美郷間)
改良促進期成同盟会総会
主要地方道川本波多線
改修促進期成同盟会総会(議長)



8/12

瑞穂・高野インターアクセス新銀山街道
整備促進期成同盟会総会(議長)



9/1

第12回全国和牛能力共進会
大田市出品者激励会(議長ほか)



9/18

山陰自動車道建設促進
島根県民総決起大会2022
(議長ほか)



9/23

大田市戦没者追悼式(議長)



10/5

島根県市議会議長会
秋季定期総会(正副議長)

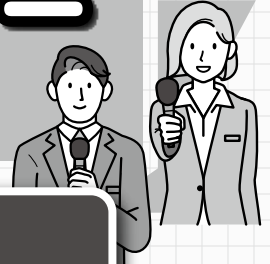




インタビュー!
interview!!

インタビューコーナー

～民生委員会編～



質問!

議員を目指した理由と
4年後の大田市の未来像は何ですか?

4月から新体制がスタートしました。議員全員が熱い想いを胸に市議会議員を志し、市民の皆さまとともに大田市の発展に向けて取り組んでいきたいと考えています。今回は、議員を目指した理由と、大田市の未来像について聞いてみました! 第2回目は民生委員会です。

月森和弘副委員長 (大田町出身)

この度の市議会議員選挙にあたり依然として人口減少に歯止めがかからず、地域は疲弊しています。今こそ街の活性化を進め魅力ある市街地を形成することで「子供たちに確かな未来」を、そして市民が安心して暮らせ、みんなの笑顔が輝く街づくりになると信じております。いま駅周辺では槌音が響き往時の賑わいを取り戻す工事がいよいよ始まりました。

森山幸太委員長 (朝山町出身)

前職の地域密着型の仕事をしている時に、地域の恩人の方から、議員として地域密着型の仕事をしてみないかと言われたのがきっかけで、議員を目指しました。4年後の大田市は、新たなインフラが整備され、今あるものをリノベーションしながら大いに盛り上がり活性化している大田市です。

清水 勝委員 (長久町出身)

市内後期高齢者7,400名23%の視点を備えた高齢代議員として頑張ります。市民主権の二元代表制の市政運営を起点とし、少子高齢化、過疎と人口減への対応は避けられません。物価高・医療等の負担増の秋を迎えています。また、コロナ禍で貧富の格差は拡大しています。社会的に弱い立場にある方々の思いや願いを反映させるためにチェック機能や政策立案権を生かして精進します。



月森和弘

森山幸太

清水 勝

石田洋治

小川和也

亀谷優子

石田洋治委員 (久手町出身)

議員になる前の職場では、27年間地域の方に支えられ仕事をさせて頂きました。その経験を活かし、議員として頑張ってみないかと支援組織から声を掛けていただきお世話になった方々に恩返しできればと決意しました。

4年後の大田市の未来像については、山陰道が東西に接続し、物流が改善、交流人口、観光客の増加に期待しています。

小川和也委員 (久手町出身)

議員になる前から自営業を営み、地域のボランティア活動やまちづくり活動を行ってきました。その活動の中で、大田市を取り巻く現状やさまざまな課題等が見えてきたのがきっかけで「大田市のために議員になって課題等を解決したい!」と思い議員を目指しました。4年後も引き続き地域の皆様と力を合わせ「持続可能なまちおだ」を目指してがんばります。

亀谷優子委員 (大田町出身)

大学を卒業後、市内の牧場に就職し大田に1ターン。かつての同僚や先輩方には大変お世話になり、よい友人たちにも恵まれました。大田の皆さんへの恩返しの気持ちも込めて市議会へ立候補しました。4年後も、戦争のない平和な世の中を皆さんと一緒に作りたくたいです。

大田市議会



おでかけトーク開催します

大田市議会では「まちづくり」をテーマにグループに分かれて意見交換する、「おでかけトーク」を開催します。

よりよい大田市になるよう、市民の皆さんと情報を共有していきたいと考えています。お誘いあわせのうえ、ご都合のよい会場へご参加ください。お待ちしております。

テーマは「まちづくり」



- 大田会場 : 11/6(日) 市民会館2階会議室
- 長久会場 : 11/6(日) 長久まちづくりセンター
- 仁摩会場 : 11/13(日) 仁万まちづくりセンター

各会場とも 時間:10:00~11:30 定員25名程度

人数の把握のため、お電話にて議会事務局まで申し込みをお願いします。



大田市議会事務局

TEL0854-83-8137

※申込メ切:10/28(金)

編集後記

改選前に引き続き、広報広聴委員として、市議会だよりの紙面づくりに取り組むことになりました。先般、島根県市町村議会広報研修会に参加し、議会広報について、講師より様々な助言をいただきました。特に、「広報の目的は、情報を正しく届ける手段であり、市民が知りたいことに対して、「伝える」工夫をすることを学びました。文字の書体についても、全ての人へ配慮したUDフォントを使うなど、市民の知りたい情報をわかりやすくまとめ、手に取っていただける紙面づくりに取り組んでいきたいと思えます。今後の「市議会だよりおおだ」にご注目ください。(この編集後記の本文はUD新丸ゴシック体を使用しています)

(石田洋治)

広報広聴委員

- 委員長 塩谷 裕志
- 副委員長 亀谷 優子
- 委員 石田 洋治
- 委員 胡摩田 弘孝
- 委員 宮脇 康郎
- 委員 柿田 賢次
- 委員 伊藤 康浩

坂根印刷 納